

**製品名: BMP4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01731**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BMP4
別名	BMP4; BMP2B; DVR4; Bone morphogenetic protein 4; BMP-4; Bone morphogenetic protein 2B; BMP-2B
遺伝子 ID	652
SwissProt ID	P12644
免疫原	ヒト BMP4 の合成ペプチド

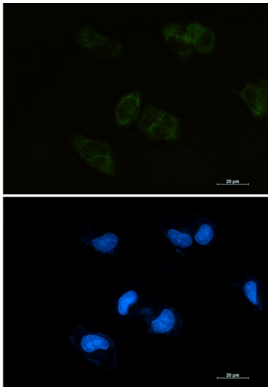
**背景**

骨形成タンパク質 (BMP) は、異所性骨および軟骨の形成を誘導する分子として初めて同定されました。BMP は TGF- $\beta$  スーパーファミリーに属し、発達過程において多様な機能を果たします。BMP は前駆体タンパク質として合成され、その後切断処理を受けて C 末端成熟 BMP へと遊離します。BMP は、I 型および II 型セリン / スレオニン受容体キナーゼを含む受容体複合体に結合し、Smad (主に Smad1、5、および 8) をリン酸化することでシグナル伝達を開始し、結果として Smad は核へと移行します。BMP は、いくつかのシステムにおいて MAPK 経路を活性化することも報告されています。

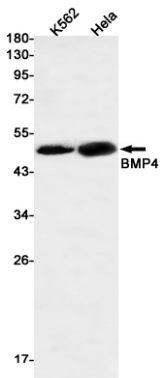
## 研究分野

心血管系

## 画像データ



BMP4 抗体と DAPI (青) を使用した HEPG2 中の BMP4 (緑) の免疫細胞化学分析。



BMP4 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の BMP4 のウエスタン ブロット分析。